

— 見えないものの中にある大切なものに気付ける子どもになるために —

キリスト教保育

- 神さまに愛されていることに気づき、安心して過ごす
- さまざまな生活の場面を通し、神さまの恵みの中にいることを感じ、感謝の気持ちをもつ
- 神さまと人々に喜ばれる人になる



合同礼拝 ～長田司祭の聖書のお話～

教会訪問
～大きな十字架の前で～

体験活動

- すぐれたものを持っている人との出会いを通して新たな発見や学びがある
- 日常の子どもの生活や、活動(遊び)からだけでは得られない体験をすることによって刺激を受け、自分たちの生活に生かしてゆく



美術館見学
～絵の大きさにびっくり!!～



コマ名人さん来園
～へえー、ほんとにまわってるの?～

遊びによる保育(遊びによって育てられるもの)

生きる力の基礎と、学びの基本を身につける

- ①五感で学ぶ(体で学ぶ)
- ②自発性・自主性を養う(決断する能力を養う)
- ③コミュニケーション能力を高める(トラブルを克服したり、喜びを共有したり、ルールや秩序の必要性を知る)
- ④注意力、忍耐力を育てる
- ⑤知力、体力、技術力を身につける
- ⑥好奇心・探究心を満足させ、思考力、想像力を養う
- ⑦創造力、表現力を豊かにする



～どろんこ、きもちいいね～



木工 ～かなづちトントン～



ターザンロープ
～ゆらゆらゆれるのって楽しいね～

クラスでの集まり(話し合いの時間を大切に)

コミュニケーション能力を養う

- ①人の話を聴く、自分の考え(思い)を話す
- ②自分の知らないことを知る
- ③いろいろな子どもと出会い、それぞれの人格の違いに気づき認め合う
- ④人の痛み、悲しみ、喜びを分かち合う
- ⑤四季折々の自然を身近に感じ、恵みとして与えられ、環境を大切にする



食育
～野菜を育てよう～



話し合いの時間
～世界地図を見ながら～

子どもの視座(目線)に立つ幼児教育の姿勢を持ち、子ども・保護者・保育者が、共に育ちあうことをめざしています。